

令和2年度 教員地域貢献活動支援事業（協働） 成果報告書

1 研究課題名

課題解決型まち活性化プロジェクト

2 実施教員

代表教員氏名・所属・職位	国際教養学部 教授 鈴木 伸治
事業ユニットの構成	国際教養学部 准教授 三輪 律江

3 課題提案者

組織名	京浜急行電鉄(株)
-----	-----------

※課題提案者以外の連携機関(組織名) 該当がある場合のみ記載

組織名	
-----	--

4 課題

金沢区は横浜市の中で最も人口が減少しており、京急沿線の中でも高齢化が進むエリアである。そのため若年層や新規入居者の減少により、将来、地域の衰退が予想されている。特に、当社が大規模分譲をした戸建住宅地がある能見台・富岡地区においては今後課題が顕在化することが予想されている。また、区心部においては、集合住宅の建て替えなどを想定し、新たな時代の土地利用の検討が必要とされている。

5 課題の解決方法

能見台・富岡地区では昨年度より、まちづくりビジョン策定のためのワークショップ・懇談会がスタートし、これらの活動に学生とともに参加しながら協働してきた。これを継続して実施するとともに、計画されている住民参加型ワークショップへの支援を行う。区心部においてもワークショップに参加しながら、住民グループなどと共に区心部活性化を目的とした公共空間活用イベントを計画してきた。今年度はこれを実施しながら区心部の将来ビジョンづくりに協力する。ビジョン策定やイベント等についてはコロナウィルス対応により、先行きについて、現時点で今後どのような形で進めていくか先行き不透明な部分もあるが、これについては関係者とともに協議しながら見直しを行っていくこととする。

6 研究実績報告（実施したスケジュールと内容・成果）

開催された富岡能見台地区のワークショップの開催支援などは実施したが、コロナ禍により途中からオンラインでの開催、書面による開催になり、地域住民との合意形成などは十分とはいかなかった。

また、当初は公共空間活用および、ワークショップで出された意見の実現のためのイベント開催等を実施内容としていたが、これについては提案者と合意の上、来年度に先送りとなった。

一部、オンラインの研究会を実施した。

7 得られた効果及び自己評価

当初より、公共空間活用の社会実験等の実施を目標としていたため、実質的に調査研究については中止となった。

8 今後の課題と展開

残予算を返却し、令和3年度は委託研究による実施することとする。

9 研究発表

特になし。